

都市経営研究科 2021 年度夏季入試説明会/シンポジウム

2021 年度博士前期課程夏季入試説明会およびシンポジウムは ZOOM などオンラインで開催します。

入試説明会

[入試説明会日程]

	日 時	申込期間
第 1 回	7月 4日(土) 15時30分～	6月 8日(月)～7月 1日(水)
第 2 回	7月15日(水) 19時～	6月17日(水)～7月 10日(金)
第 3 回	8月 1日(土) 15時30分～	7月13日(月)～7月 29日(水)

■申込方法

下記メールアドレス宛に事前申込をしてください。折り返し、参加方法等をお知らせします。

- ・ 件名：「〇月〇日入試説明会申込」
- ・ 記載事項：（必須）氏名、メールアドレス
（任意）希望コース、勤務先
- ・ 申込先アドレス：gsum-s@ado.osaka-cu.ac.jp

オンラインシンポジウム(一般参加可・参加無料)

■申込方法

インターネットによる事前申込制。
希望するコースに申込をしてください。

[都市ビジネスコース]

日 時	6月11日(木) 18時 15分～
テ ー マ	「その先の、未来へ」
講 師	三寺 歩 氏(ミツフジ株式会社 代表取締役)
略 歴	1977年2月7日生。2001年立命館大学経営学部卒業後、松下電器産業(株)(現パナソニック)入社。シスコシステムズ、SAP ジャパンなどを経て、2014年9月三ツ富士繊維工業(株)(現ミツフジ)入社、代表取締役社長に就任。
趣 旨	京都の西陣織工場を祖業とし、創業64年目を迎えたミツフジ(株)は、銀メッキ繊維の技術をウェアラブル IoT 分野に発展させ、今は着るだけで体の状態が分かるソリューションを展開しています。社会課題の解決を目指す企業として、わずか1カ月で、全国的な衛生マスク不足の緩和となるよう、独自の技術で抗菌、防臭の効果を備えた高機能マスクを3月に製品化するなど、そのスピード感あふれた経営は、世界から注目を浴びています。本日のワークショップでは、ミツフジ(株)が見据える将来について、講演していただきます。
申 込 先	gsum-s@ado.osaka-cu.ac.jp 折り返し、参加方法をお知らせします。
コーディネーター	小関 珠音

[都市政策・地域経済コース]

日 時	6月19日(金) 18時30分～
テ ー マ	「あいちトリエンナーレ 2019 から 2022 へバトンをつなぐ」
講 師	津田 大介 氏(ジャーナリスト) (案内チラシ)→
略 歴	ジャーナリスト／メディア・アクティビスト。ポリタス編集長。大阪経済大学情報社会学部客員教授。1973 年生まれ。東京都出身。早稲田大学社会科学部卒。テレ朝チャンネル 2「津田大介 日本にプラス+」キャスター等。『情報戦争を生き抜く』(朝日新書)ほか。
趣 旨	あいちトリエンナーレ 2019 では、電凸攻撃・脅迫などで、「表現の不自由・その後」の展示が中止される事態となりました。アーティスト・市民らの連帯で展示は再開されましたが、今回の事態で可視化された社会の分断と対立に対し、寛容や融和の処方箋はあるのでしょうか。津田大介氏をお迎えして、改めてあいちトリエンナーレ 2019 の成果を、冷静かつ客観的に振り返りたいと考えています。今後の芸術祭・アートプロジェクトの展望、コロナ危機をどう乗り越えるのかなどについても、意見交換していきます。
申 込 先	参加料は無料ですが、下記 PEATIX より事前申込が必要です。 https://peatix.com/event/1487056 申込と引き換えに、視聴ページをお知らせします。
コーディネーター	吉田 隆之

日 時	6月26日(金) 18時30分～
テ ー マ	「2025 大阪・関西万博とは」
講 師	梅村 宏尚 氏(公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会整備局長)
略 歴	大阪市内に建築職として奉職し、都市計画や住宅行政に携わる。現在公益財団法人2025日本国際博覧会協会整備局長。
趣 旨	2025 年 4 月より 10 月までの185日間開催予定の万博は、「いのち耀く未来社会のデザイン」をテーマに開催されます。この万博のコンセプトは未来社会の実験場であり、人類共通の課題解決に向けて先端技術など世界の英知を結集し、新たなアイデアを創造発信することとなっています。この万博について現状と今後の取り組みについて講演をいただきます。
申 込 先	佐藤道彦 michihiko-sato@osaka-cu.ac.jp 折り返し、参加方法をお知らせします。
コーディネーター	佐藤 道彦

[都市行政コース]

日 時	7月10日(金) 18時30分～
テ ー マ	「行政調査の法的論点」
講 師	折橋 洋介 氏(広島大学 法学部/大学院人間社会科学研究科 教授)
略 歴	修士(法学)博士(医学)。日本学術振興会特別研究員 DC-1、総務省行政判例等専門官、広島大学准教授を経て 2019 年 4 月より現職。著書として『条解行政不服審査法(第2版)』(共著, 弘文堂, 2020 年)、『条解国家賠償法』(共著, 弘文堂, 2019 年)など多数。
趣 旨	行政活動には当然のことながら様々な情報が必要とされます。時には民間に委託して、時には住民の任意の協力の下に、そして時には法制度を整備し、罰則を背景に強制的に、等々。行政はその活動に必要な情報を取得します。その手段は多様であり、その手法をめぐる論点もまた多様です。さらに、得た情報の利用や保全の面でも、入手方法と同様に多くの論点があります。本日は、行政活動の礎となる情報収集、すなわち行政調査をめぐる論点について、主に法的な側面を中心に、ご講演いただきます。
申 込 先	水上 啓吾 mizukami@osaka-cu.ac.jp 折り返し、参加方法をお知らせします。
コーディネーター	高野 恵亮